

公益社団法人 伊豆市シルバー人材センター

## 平成 31 年度 事業計画

公益社団法人伊豆市シルバー人材センターは、会員である高齢者が「福祉の受け手から社会の担い手」として、長年培ってきた知識や技能・経験などを活かし、会員自らが地域の一員として仕事を通じた社会参加をするとともに、生きがいの充実と福祉の増進を図り、地域社会に於いて大きな役割を果たして参りました。

日本経済では緩やかな景気の回復基調が続いており、個人所得・有効求人倍率も上昇を続けております。一方で急速な高齢化が進んでおり、定年制の延長や再雇用制度の導入、年金受給年齢の引き上げや、一億総活躍社会による高年齢者の就労促進・働き方改革など、高齢者を取り巻く社会情勢はおおきな変革の時を迎えています。

今後も、益々多様化する時代の要請に的確に応えながら、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員の総意と主体的な参画により運営する組織として、就業機会の拡大・開拓や会員の増強を図るとともに、引き続き自治体や他の関係機関とも連携・協働しながら、高齢者・地域社会の双方からさらに必要とされる存在となるため、地域に愛され信頼されるシルバー人材センターを目指してまいります。

平成 31 年度は、前年度の取り組みを踏まえつつ、次の重点目標を掲げ事業展開いたします。

### I. 重点目標

1. 安全就業の強化と健康管理の推進
2. 自主・自立、共働・共助の推進
3. シルバー派遣事業への取組と技術・能力向上の推進
4. 会員増強と普及啓発活動の推進
5. 就業機会の確保への取り組み
6. 自主事業の充実と後継者育成の推進

## 1. 安全就業の強化と健康管理の推進

安全はすべてに優先することを全会員に徹底し、就業途上における交通事故や就業中の事故ゼロを目標に安全意識の高揚に取り組みます。また、積極的な健康診断の受診を推奨し健康に対する自己管理の意識向上に努めます。

## 2. 自主・自立、共働・共助の推進

会員、役員、職員が連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、会員自らが地域班長や役員に自主的に協力できるよう「地域懇談会等」を活用し意識の改革を目指します。

## 3. シルバー派遣事業への取組と技術・能力向上の推進

請負や委任業務について就業の適正化を図るためシルバー派遣事業に取り組むとともに、会員の技術・能力の向上のための講習会や研修等の実施に努めます。

## 4. 会員増強と普及啓発活動の推進

伊豆市シルバー人材センター設立 15 周年記念イベント「シルバーふれあいまつり」を開催し市民の皆様にシルバー事業と活動を広く PRするとともに、地域 FM での CM 放送と、広報誌を発行し「全国シルバー会員 100 万人達成」を目指します。また、女性会員の増強を図り、地域の要望に応えられるよう努めます。

## 5. 就業機会の確保への取り組み

未就業会員の就業機会を確保するため、新規就業先の拡大・開拓をしていきます。就業の公平化のため企業と連携をしてワークシェアリングを進めます。

## 6. 自主事業の充実と後継者育成の推進

ますます盛春農園事業や正月飾り・筍出荷事業を今後も継続事業としていくため、多くの会員の参加・協力により遊休農地や放置竹林の解消及び地域における異世代交流と、食育の推進活動として引き続き取り組むとともに後継者の育成と会員の自主性を図ります。